

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	はりきゅう実技9	実技	2	60	はりきゅう実技、東洋医学概論、東洋医学臨床論、経絡経穴概論
学科・学年	担当教員名	科目関連実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
鍼灸学科 3学年	久保田明美 伊藤菜里 森井健司 川口拳	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	臨床の場面で出会う様々な疾患についての必要な知識、治療方法について学びます。		
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
<p>臨床に必要とされる、さまざまな治療知識と技術を身に着ける。 西洋医学的、東洋医学的な治療に必要な知識と技術の応用が、すぐに実践できるように訓練する。</p>					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>整形疾患以外で臨床で遭遇する事の多い疾患の鍼灸での治療方法を学んでいきます。東洋医学的な治療が多いので東洋医学概論、経絡経穴概論、東洋学臨床論の内容の復習をしっかりと行ってから、授業に参加するようにしましょう。</p>					
教科書・参考書					
<p>教科書: 東洋療法学校協会「経絡経穴概論」、「東洋医学概論」、配布資料</p>					
受講時留意点、その他					
<p>【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照 ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 ※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。 授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。</p> <p>【 受講科目受講時留意点 】 ●服装、頭髪、名札を含めた身だしなみをきちんとしてから、実習に参加するようにしましょう。 ●事前に指定された鍼の種類や、教科書を忘れずに持参して下さい。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験		認定実技試験内の「鍼」「灸」の試験結果を反映させる。			
その他					
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		花粉症		/	久保田 川口
2		眼精疲労		/	久保田 川口
3		皮膚疾患		/	久保田 川口
4		メンタル鍼灸		/	久保田 川口
5		認定実技試験練習①		/	久保田 川口
6		眩暈		/	森井 川口
7		悪心・嘔吐		/	森井 川口
8		食欲不振		/	森井 川口
9		疲労・倦怠感		/	森井 川口
10		認定実技試験練習②		/	森井 川口

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		便秘と下痢		/	伊藤 川口
12		月経異常		/	伊藤 川口
13		発熱		/	伊藤 川口
14		督脈通陽法		/	伊藤 川口
15		認定実技試験練習③		/	伊藤 川口
16		臨床実技		/	川口 森井
17		臨床実技		/	川口 久保田
18		認定実技試験対策		/	専任
19		症例検討		/	専任
20		症例検討		/	専任

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		症例検討		/	専任
22		症例検討		/	専任
23		症例検討		/	専任
24		症例検討		/	専任
25		症例検討		/	専任
26		症例検討		/	専任
27		症例検討		/	専任
28		症例検討		/	専任
29		症例検討		/	専任
30		症例検討		/	専任